

【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

押しボタン制御式修正テープであって、

ケースと、該ケースには収容空間が備えられており、かつ該ケースの後端には開口および隆起が備えられる一方で、前端には円形開口が備えられていることと、

テープホルダと、該テープホルダは前記ケースの収容空間に載置されており、かつ前端にはアプリケーションヘッドが備えられる一方で、後端には一対の柱が備えられていることと

、
押圧機構とを含み、該押圧機構は、前記ケースの後開口に載置されると共に、押圧部と、案内ブロックと、摺動棒とが備えられており、該押圧部には受入れ空間が形成されており、また、一対の受入れ管は、前記テープホルダの後端の一対の柱を受け入れるために、該受入れ空間の片側にある両端から延出させられており、一対のバックル穴が前記押圧部の一方の縁に設けられており、第 1 案内経路が前記案内ブロックに設けられており、さらに一対のクリップが、前記案内ブロックを押圧部の受入れ空間に載置するために、該押圧部のバックル穴に対応する案内ブロック上の位置に設けられており、またさらに前記摺動棒の一方には、前記ケースの隆起を受け入れるために切欠が備えられる一方で、別端には案内棒が備えられていることと、

前記押圧部を押すことにより、前記摺動棒の案内棒は、前記案内ブロックの押圧により、前記第 1 案内経路に沿ってプリセット位置へ移動し、さらに前記押圧部の受入れ管は、前記テープホルダの柱を押して、該テープホルダを前方へ移動させると、該テープホルダが圧縮弾性力を受けて、前記アプリケーションヘッドを前記ケースの円形開口の外側に露出させることとを特徴とする押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 2】

前記ケースにはさらに、上側カバーと、下側カバーと、組立てカバーとが備えられており、前記円形開口が該上側カバーに設けられる一方で、前記開口は前記組立てカバーに設けられており、前記隆起は該組立てカバー内部の一側面に設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 3】

前記下側カバーの前側は閉鎖構造体である一方で、後側は半開放構造体であり、かつ該半開口構造体の後側にはバックル穴が備えられることを特徴とする請求項 2 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 4】

前記上側カバーは、前記下側カバーと組み付けるために、該下側カバーの上端に載置されており、また該上側カバーは透明であると共に逆 U 字形状を有しており、さらに該下側カバーのバックル穴に対応する位置にも、バックル穴が形成されることを特徴とする請求項 3 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 5】

前記上側カバーおよび前記下側カバーのバックル穴に対応する前記組立てカバーの位置には、該上側カバーおよび該下側カバーを組み付けるために、一対のバックルが備えられることを特徴とする請求項 4 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 6】

前記テープホルダはさらに、第 1 アセンブリと、第 2 アセンブリと、修正テープ送出器とを含み、該修正テープ送出器は、該第 1 アセンブリと該第 2 アセンブリとの間に固定されており、かつ前記アプリケーションヘッドは該修正テープ送出器と共に組み付けられると同時に、一対の柱が、該第 1 アセンブリの後側の一方から延出させられる湾曲面に載置されることを特徴とする請求項 1 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 7】

前記第 1 アセンブリ側には複数のピンが備えられており、かつ前記前側には真直棒が備えられており、また、該真直棒の両側には各々停止部が備えられており、穴が該停止部に設けられており、かつ弾性要素が該真直棒の内部に設けられており、前記湾曲面の両縁にも

10

20

30

40

50

穴が備えられることを特徴とする請求項 6 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 8】

前記第 1 アセンブリの複数のピンに対応する前記第 2 アセンブリの位置には、対応する穴が備えられており、かつ該第 1 アセンブリの停止部の穴および前記湾曲面の穴の位置にもピンが備えられることを特徴とする請求項 7 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 9】

前記ケースには下側カバーが備えられており、該下側カバーの前側は閉鎖構造体であり、かつ該閉鎖構造体の内壁の両側には一対の対称に載置される柱が備えられており、該柱は前記弾性要素を停止させるために使用され、これにより、圧縮弾性力または弾性復元力が押圧工程の間に誘発されることを特徴とする請求項 7 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

10

【請求項 10】

前記押圧部にはさらに固定ブロックが備えられており、該固定ブロックには複数の柱が備えられており、前記案内ブロックには、前記固定ブロックを該案内ブロックに結合させるために、該固定ブロックの複数の柱に対応する複数の穴が備えられており、これにより、前記案内棒は固定されることを特徴とする請求項 1 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

【請求項 11】

前記押圧部の案内ブロックにはさらに、第 2 案内経路が形成されており、該第 2 案内経路は、該押圧部が再度押された時に、該案内ブロックの押圧により、前記摺動棒の案内棒を、該第 2 案内経路に沿って前記第 1 案内経路に後退させるために使用され、かつ該押圧部の受入れ管は、前記テープホルダを前方へ移動させるために、該テープホルダの柱を押し、これにより、該テープホルダは弾性復元力を受けて、前記アプリケーションヘッドを前記ケースまで後退させることを特徴とする請求項 1 に記載の押しボタン制御式修正テープ。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、押しボタン制御式修正テープに関する。特に、本考案は、アプリケーションヘッドがケースの外側に延出可能、或いはケース内に後退可能な修正テープに関する。

【背景技術】

30

【0002】

殆どの修正テープは一般的に、ケースと、外側カバーと、テープ送出器とを含み、テープ送出器は、アプリケーションヘッドがケースの外に固着している状態で、ケースに載置される。テープ塗布側への汚れの付着を阻止するべく、アプリケーションヘッドを容器に入れるように、アプリケーションヘッドにさらにヘッドカバーを被せることがよくある。しかしながら、上記方法では、使用前に、外側カバーをケースから取り外す必要があり、また、もしヘッドカバーを失うことがあれば、アプリケーションヘッド上のテープは汚れが付着しかねない。したがって、この欠点は、未だ解決されていない問題である。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

40

【0003】

本考案の目的は、アプリケーションヘッドが外側に延出可能またはケース内に後退可能な押しボタン制御式修正テープを提供することにある。

本考案の別の目的は、外部衝撃による破損または汚れの付着が阻止される押しボタン制御式修正テープを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本考案の押しボタン制御式修正テープは、ケースと、テープホルダと、押圧機構とを含む。ケースには収容空間が備えられており、かつケースの後端には開口および隆起が備えられる一方で、前端には円形開口が備えられる。テープホルダはケースの収容空間内に載

50

置され、かつアプリケーションヘッドが前端に、ならびに一对の柱が後端に設けられる。押圧機構はケース後端の開口に載置されると共に、押圧部と、案内ブロックと、摺動棒とが設けられる。押圧部には受入れ空間が備えられ、かつ一对の受入れ管が、後端の柱対を受け入れるために、受入れ空間の一方の両端から延出させられる。また、押圧部の一方の縁には一对のバックル穴が備えられる一方で、第1案内経路が案内ブロックに設けられ、かつ押圧部のバックル穴に対応する一对のクリップが、案内ブロックを押圧部の受入れ空間に載置するために、案内ブロックの片側に設けられる。切欠がケースの隆起を受け入れるために摺動棒の一端に設けられ、かつ案内棒が他端に設けられており、この内部において、押圧部が押されて案内ブロックを押圧すると、摺動棒の案内棒がプリセット位置へ移動させられて、押圧部の受入れ管にテープホルダを前方へ押させる。この時点で、テープホルダは圧縮弾性力を受けるため、アプリケーションヘッドはケースの円形開口の外部に露出する。

10

【0005】

ケースはさらに、上側カバー、下側カバーおよび組立てカバーを備え、円形開口が上側カバーに設けられる一方で、開口が組立てカバーに設けられると共に、隆起が組立てカバー内部の片側に設けられる。

【0006】

下側カバーの前側は封鎖構造体である一方で、後側は半開放構造体であり、またバックル穴が半開放構造体の後側に設けられる。

上側カバーは、下側カバーの上端に載置され、かつ下側カバーと共に取り付けられる。上側カバーは、逆U字形からなり、かつ透明であり、また、バックル穴が下側カバーのバックル穴に対応する位置に設けられる。

20

【0007】

上側および下側カバーを取り付けるために、一对の対称的なバックルが、上側および下側カバーのバックル穴位置に対応する組立てカバーの位置に設けられる。

テープホルダにはさらに、第1アセンブリと、第2アセンブリと、修正テープ送出器とが備えられる。修正テープ送出器は、第1アセンブリと第2アセンブリとの間に固定され、アプリケーションヘッドは修正テープ送出器と組み合わせられ、さらに、一对の柱が湾曲面上に載置される。この湾曲面は、第1アセンブリの後側の片側から延出させられる。

【0008】

複数のピンが第1アセンブリ側に設けられると共に、真直棒が前側に設けられ、さらに、真直棒の両側は各々停止部を有する。また、停止部の上端には穴が設けられ、真直棒内部には弾性要素が設けられる。さらに、湾曲面上の両端縁には穴が設けられる。

30

【0009】

第1アセンブリの複数のピンに対応する第2アセンブリの位置には穴が設けられ、また停止部の穴および湾曲面上の穴に対応する位置にはピンが設けられる。

ケースは下側カバーを備え、下側カバーの前側は封鎖構造体からなり、また封鎖構造体内壁の両側には、一对の対称に載置される柱が備えられる。この柱は、弾性要素を所定位置に保持するために使用され、押圧工程において、圧縮弾性力または弾性復元力が弾性要素により誘発される。

40

【0010】

押圧機構にはさらに、固定ブロックが備えられており、この固定ブロックには複数の柱が形成されている。また、案内ブロックには、固定ブロックを案内ブロックに結合させて案内棒を固定するために、複数の貫通穴が形成されている。

【0011】

押圧機構の案内ブロックにはさらに、第2案内経路が形成されている。第2案内経路は、押圧部が再度押圧された時に使用され、これにより、摺動棒の案内棒は、案内ブロックを押圧すると、第2案内経路に沿って第1案内経路へ後退すると共に、受入れ管にテープホルダの柱を押させて、テープホルダを前方へ移動させる。ここで、テープホルダは弾性復元力を受けて、アプリケーションヘッドをケース内へ後退させる。

50

【 0 0 1 2 】

本考案の押しボタン制御式修正テープは、押圧部を押すことにより、アプリケーションヘッドをケースの円形開口外部へ露出させ、また押圧部を再度押すことにより、アプリケーションヘッドをケース内へ後退させる。したがって、本考案の押しボタン制御式修正テープは、外部衝撃に起因する破損または汚損を被ることを防止できる。

【 考案を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 3 】

図 1 および図 2 を参照すると、これらの図は、本考案の押しボタン制御式修正テープの外観のブロック線図、および本考案の押しボタン制御式修正テープの分解組立ブロック線図である。本考案の押しボタン制御式修正テープは、ケース 1 0 と、テープホルダ 2 0 と、押圧機構 3 0 とを含む。ケース 1 0 には、收容空間 1 1、ならびに上側カバー 1 2、下側カバー 1 3 および組立てカバー 1 4 が備えられる。テープホルダ 2 0 は、ケース 1 0 の收容空間 1 1 内に載置されると共に、第 1 アセンブリ 2 1、第 2 アセンブリ 2 2、修正テープ送出器 2 3 およびアプリケーションヘッド 2 4 を備える。押圧機構 3 0 (図 4 A および図 4 B を参照) は、ケース 1 0 の後カバーの片側に載置されると共に、押圧部 3 1、固定ブロック 3 2、案内ブロック 3 3 および摺動棒 3 4 を備える。

【 0 0 1 4 】

下側カバー 1 3 の前側は閉鎖構造体である一方で、後側は半開放構造体であり、また、閉鎖構造体の前端には円形開口 1 3 0 が備えられており、かつ閉鎖構造体の内壁の両側には、一対の対称に載置される柱 1 3 1 が備えられる (図 5 および図 6 を参照)。また、閉鎖構造体の上側には反摺動部 1 3 2 が備えられる一方で、半開放構造体の後側にはバックル穴が備えられる。上側カバー 1 2 は下側カバー 1 3 の上端に載置され、かつ下側カバー 1 3 と共に組み付けられる。また、上側カバー 1 2 は逆 U 字形状をなすと共に透明であり、また下側カバー 1 3 のバックル穴 1 3 3 に対応する位置にも、バックル穴 1 2 0 が備えられる。また、組立てカバー 1 4 は中空であり、片側には開口 1 4 0 (図 4 A および図 4 B を参照) が設けられており、カバー内側の一側面には、隆起 1 4 1 が形成されている。さらに、上側カバー 1 2 および下側カバー 1 3 のバックル穴 1 2 0、1 3 3 に対応する位置には、一対のバックル 1 4 2 が設けられており、上側カバー 1 2 および下側カバー 1 3 を組み立てるために使用される。

【 0 0 1 5 】

また図 3 を参照すると、これは別の視点からの本考案の押しボタン制御式修正テープのテープホルダを示す分解組立ブロック線図である。図 3 において、第 1 アセンブリ 2 1 および第 2 アセンブリ 2 2 が組み立てられており、第 1 アセンブリ 2 1 の側には複数のピン 2 1 0 が備えられると同時に、前端には真直棒 2 1 1 が設けられている。真直棒 2 1 1 の両側には停止部 2 1 2 が備えられており、停止部 2 1 2 には穴 2 1 3 が形成されると共に、真直棒 2 1 1 には弾性要素 2 1 4 が備えられている。本実施の態様においては、弾性要素 2 1 4 はばねであり、また湾曲面 2 1 5 が第 1 アセンブリ 2 1 の後側の一方から延出させられており、さらに一対の柱 2 1 6 が湾曲面に設けられ、穴 2 1 7 が湾曲面 2 1 5 の両縁に設けられる。第 1 アセンブリ 2 1 の停止部上の複数のピン 2 1 0 に対応する第 2 アセンブリ 2 2 上の位置には、穴 2 2 0 が設けられており、また第 1 アセンブリ 2 1 の停止部 2 1 2 上の穴 2 1 3 に対応する第 2 アセンブリ 2 2 上の位置には、ピン 2 2 1、2 2 2 が備えられる。テープホルダ 2 0 の修正テープ送出器 2 3 は、第 1 アセンブリ 2 1 と第 2 アセンブリ 2 2 との間に固定されると共に、アプリケーションヘッド 2 4 は修正テープ送出器 2 3 の前端に載置される。

【 0 0 1 6 】

図 4 A および図 4 B を参照すると、これらの図は、別の視点からの本考案の押しボタン制御式修正テープの押圧機構を示すブロック線図であり、押圧機構 3 0 の押圧部 3 1 には受入れ空間 2 1 0 が形成されており、さらに一対の受入れ管 3 1 1 が受入れ空間 3 1 0 の一方の両端から延出させられている。受入れ管 3 1 1 は、第 1 アセンブリ 2 1 の対応する柱 2 1 6 を受け入れるように構成されており、また押圧部 3 1 の一方の縁には、一対のバ

ックル穴 3 1 2 が備えられる。固定ブロック 3 2 には複数の柱 3 2 0 が備えられており、また案内ブロック 3 3 には、固定ブロック 3 2 の複数の柱 3 2 0 に対応する複数の貫通穴 3 3 0 が形成されている。さらに、案内ブロックには、第 1 案内経路 3 3 1 および第 2 案内経路 3 3 2 が設けられており、また、押圧部 3 1 のバックル穴 3 1 2 に対応する一対のクリップ 3 3 3 が、案内ブロック 3 3 の一方に設けられる。摺動棒 3 4 の一端には案内棒 3 4 0 が備えられると共に、他端の片側には切欠 3 4 1 が備えられており、この切欠 3 4 1 は、組立てカバー 1 4 の隆起 1 4 1 との連結を促進するために使用される。

【 0 0 1 7 】

本考案の押しボタン制御式修正テープの組立てが必要な場合には、まず、修正テープ送出器 2 3 が第 1 アセンブリ 2 1 上に載置され、次に、第 2 アセンブリ 2 2 が、穴 2 2 0 を使って第 1 アセンブリ 2 1 の対応するピン 2 1 0 に連結され、同時に、第 2 アセンブリ 2 2 のピン 2 2 1 , 2 2 2 が第 1 アセンブリ 2 1 の停止部 2 1 2 上の対応する穴 2 1 3 、および湾曲面 2 1 5 の穴 2 1 7 に挿入されて、第 2 アセンブリ 2 2 は第 1 アセンブリ 2 1 と結合される。結合された第 1 アセンブリ 2 1 および第 2 アセンブリ 2 2 はさらに、押圧機構 3 0 の組立て後に、テープホルダ 2 0 を形成するために、アプリケーションヘッド 2 4 と連結される。固定ブロック 3 2 の柱 3 2 0 は、案内ブロック 3 3 の対応する貫通穴 3 3 0 に対して連結されて、固定ブロック 3 2 の柱 3 2 0 を案内ブロック 3 3 の貫通穴 3 3 0 に挿入することが可能となる。こうして、案内棒 3 4 0 は固定ブロック 3 2 によって固定されるため、移動工程の間に、案内棒 3 4 0 は案内ブロック 3 3 から容易に落下することはない。結合された案内ブロック 3 3 および固定ブロック 3 2 は、押圧部 3 0 の受入れ空間 3 1 0 に載置され、さらに、案内ブロック 3 3 のクリップ 3 3 3 は、押圧部 3 0 のバックル穴 3 1 2 を固定するために使用されて、案内ブロック 3 3 および固定ブロック 3 2 は押圧部 3 0 上に固定される。押圧部 4 0 の受入れ管 3 1 1 は、第 1 アセンブリ 2 1 の対応する柱 2 1 6 を受け入れ、これにより、テープホルダ 2 0 は押圧部 3 1 と結合される。結合されたテープホルダ 2 0 および押圧部 3 1 は、下側カバー 1 3 の内部に載置され、また上側カバー 1 2 は、下側カバー 1 3 の半開放構造体を被覆するために載置される。ここで、摺動棒 3 4 の切欠 3 4 1 は組立てカバー 1 4 の対応する隆起 1 4 1 を受け入れる。また、結合された案内ブロック 3 3 および固定ブロック 3 2 の押圧部 3 0 は、組立てカバー 1 4 の内部に載置される。さらに、組立てカバー 1 4 のバックル 1 4 2 は、上側カバー 1 2 および下側カバー 1 3 のバックル穴 1 2 0 , 1 3 3 を固定するために使用されて、組立てカバー 1 4 と結合する。この時点で、摺動棒 3 4 の案内棒 3 4 0 は、案内ブロック 3 3 の第 1 受入れ空間 3 3 1 に載置されており、これで、本考案の押しボタン制御式修正テープ 1 の組立てが完了する。

【 0 0 1 8 】

以下の説明は、図 5 および図 6 を図 7 と合わせて参照しており、これらの図は、本考案の押しボタン制御式修正テープの断面図、および本考案の押しボタン制御式修正テープの上面図を示している。非押圧状態にある本考案の押しボタン制御式修正テープ 1 は、図 6 に示す通りであり、アプリケーションヘッド 2 4 はケース 1 0 内に載置される。使用者が本考案の押しボタン制御式修正テープ 1 を使おうとする時には、まず、押圧部 3 1 が押され、ここで、摺動棒 3 4 の案内棒 3 4 0 が、(図 7 に示すように、点 A から点 B を通り点 C まで、実線を矢印に従って) 第 1 案内経路 3 3 1 に沿ってプリセット位置へ移動させられ、その結果、押圧部 3 1 の受入れ管 3 1 1 は、テープホルダ 2 0 を前方に移動させるために、第 1 アセンブリ 2 1 の柱 2 1 6 を押す。この時点で、修正テープ送出器 2 3 の真直棒 2 1 1 にある弾性要素 2 1 4 は、下側カバー 1 3 の内壁の柱 1 3 1 によって押圧状態に保たれるため圧縮弾性力が誘発される。したがって、本考案の押しボタン制御式修正テープ 1 を使用して、紙上の記入間違いを修正するために、アプリケーションヘッド 2 4 が下側カバー 1 3 の円形開口 1 3 0 から送出させられる。使用者が本考案の押しボタン制御式修正テープ 1 の使用を完了し、アプリケーションヘッド 2 4 をケース 1 0 内に後退させたい時には、押圧部 3 1 が再度押され、さらに摺動棒 3 4 の案内棒 3 4 0 が、案内ブロック 3 3 の別の押しにより、(図 7 に示すように、点 C から点 D を通り点 A まで、点線を矢印に従って)

第２案内経路３３２に沿って、第１案内経路３３１へ後退することにより、押圧部３１の受入れ管３１１が第１アセンブリ２１の柱２１６を押して、テープホルダ２０を前方へ移動させる。このようにして、修正テープ送出器２３の真直棒２１１にある弾性要素２１４は、下側カバー１３の内壁の柱１３１からの押圧により圧縮力を受けているため、弾性圧縮力が誘発されてアプリケーションヘッド２４が（図６に示すように）ケース１０まで後退する。したがって、アプリケーションヘッド２４には、外部衝撃による破損または汚損等の問題が回避される。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 9 】

【図 1】本考案の押しボタン制御式修正テープの外観を示すブロック線図。

【図 2】本考案の押しボタン制御式修正テープ内の部品を示す分解組立ブロック線図。

【図 3】別の視点からの本考案の押しボタン制御式修正テープのテープホルダを示す分解組立ブロック線図。

【図 4 A】本考案の押しボタン制御式修正テープの押圧機構を示す分解組立ブロック線図

【図４Ｂ】別の視点からの本考案の押しボタン制御式修正テープの押圧機構を示す分解組立ブロック線図。

【図 5】押圧後における本考案の押しボタン制御式修正テープの押圧部を示す断面図。

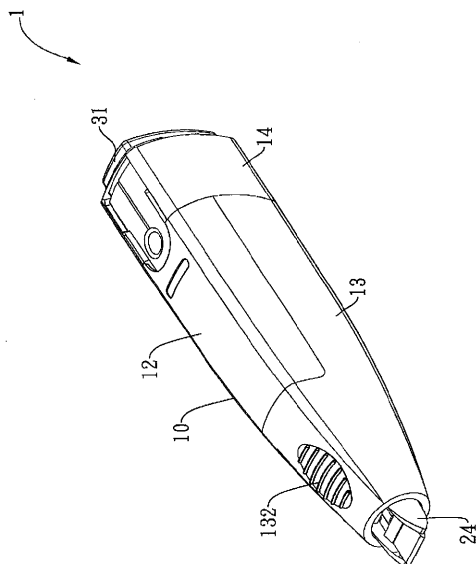
【図 6】押圧前における本考案の押しボタン制御式修正テープを示す断面図。

【図 7】本考案の押しボタン制御式修正テープの案内ブロックを示す上面図。

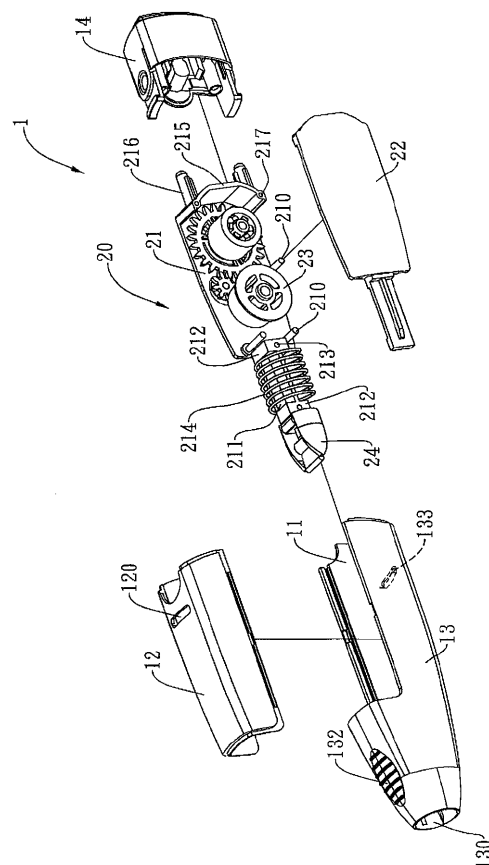
10

20

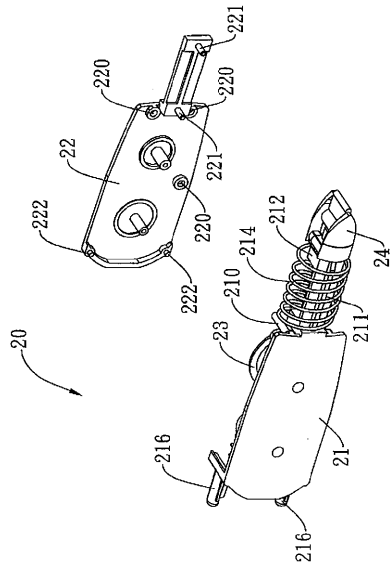
【 図 1 】



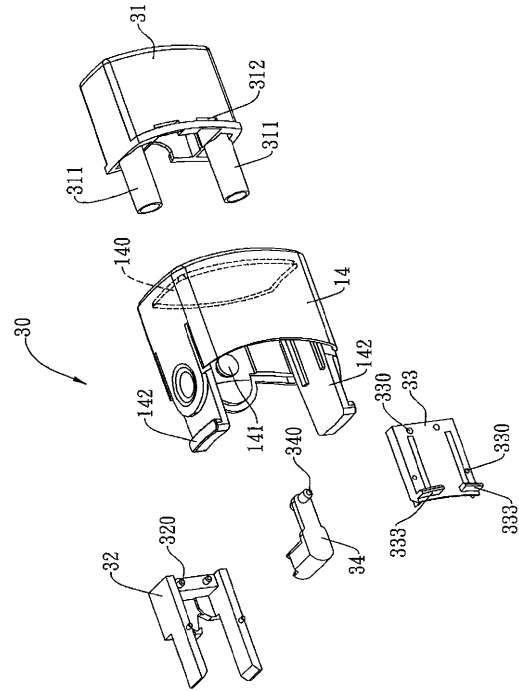
【 図 2 】



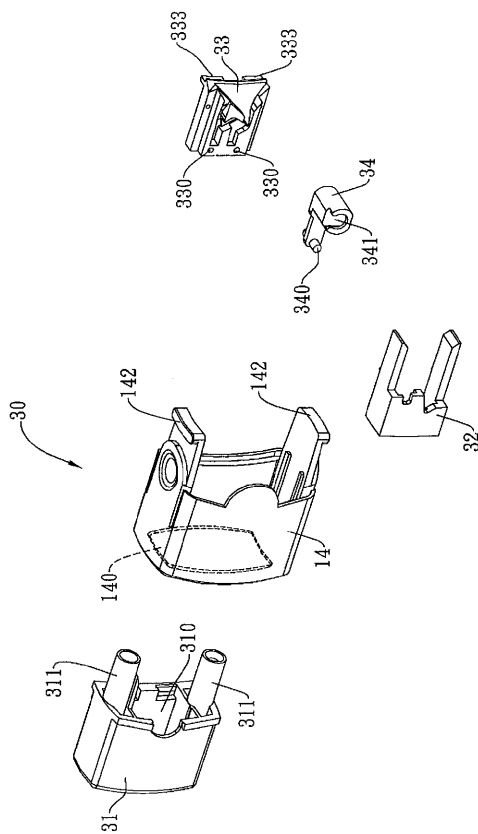
【図 3】



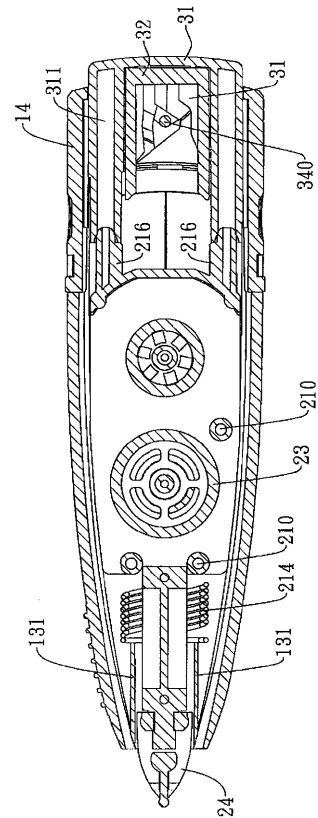
【図 4 A】



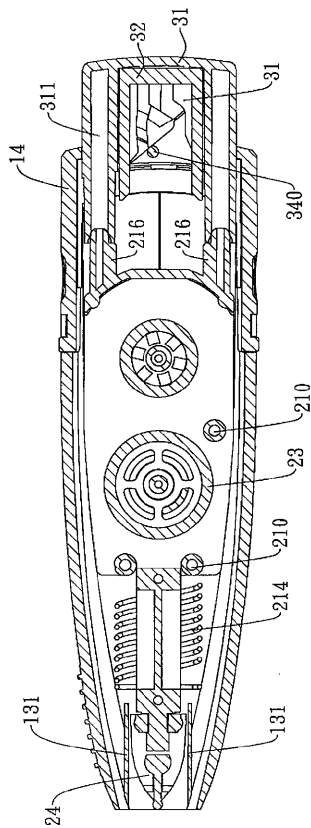
【図 4 B】



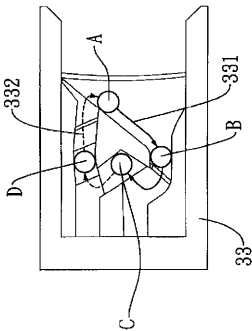
【図 5】



【 図 6 】



【 図 7 】



フロントページの続き

(72)考案者 ソン、デイビッド

台湾 タイペイ シェン シン - ティエン シティ チュン チェン ロード レーン 497
ナンバー 6 6エフ